佐渡市立小木小学校 学校だより　令和５年度　第１号

小木の子 われら

校区内
全戸回覧

令和５年４月 28 日発行

令和5年度のキーワードは「広げる」

校長　高橋　高志

１２名のかわいい１年生を迎え、令和５年度がスタートしました。どの学級も、楽しく穏やかな雰囲気で、日々の学習が進んでいます。明るく優しい６年生を中心に、良い雰囲気が作られていると感じます。また、先日の学習参観・ＰＴＡ総会には、本当に多くの保護者の皆様からご来校いただき、とても心強く感じています。どんな１年になるか、とても楽しみになりました。

さて、コロナ禍に伴う行動制限も徐々に緩和されてきています。そこで、小木小学校では、「広げる」をキーワードに以下の通り、教育活動を展開していきたいと考えています。

①「あいさつ」を通して、人とのつながりを「広げる」

朝、学校前の横断歩道に立っていると、昨年はあいさつの声が聞かれなかった子も、あいさつをしてくれるようになってきています。何だか今までよりも心の距離が縮まった気がします。あいさつには、不思議な力があります。子どもたちには、職員だけでなく、友達や学校に来られる方、地域の方とあいさつを交わし、学校や小木の町を温かい雰囲気にしてほしいと思います。

②「新聞の活用」を通して、ものの見方・考え方を「広げる」

今年度から２年間、「ＮＩＥ（新聞を活用した教育）実践・研究委嘱校」の指定を受けています。新聞は、情報の正確性や公平性・多様性に優れるため、学習の良い素材となります。職員のアイディアを結集させ、国語や算数、道徳、総合等、様々な学習活動で新聞を活用していきます。そして、子どもたちの見方・考え方を広げていく機会にしたいと考えています。

③「関係機関と連携」して、活動の幅を「広げる」

小木図書館と連携した「読み聞かせ」の復活、「ふれあいタイム」の活動内容の工夫、学校の運動会と小木地区運動会の同日開催等、小木っ子を支援してくださる多くの方々の力をお借りして、より一層郷土愛を育んでいきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、令和５年度もお力添えをよろしくお願いします。